

知らなきや損する 歯のはなし

羽生市木村歯科医院HPにて
バックナンバー掲載中!!



木村 匡司

④④番外編1 それでもしがらみで通う?

最近、「歯科の治療をしてはいるが少し不満がある」という話を良く聞きます。日本は「倭」の国すなわち「和」を重んじる国民なのです。震災後配給物を順番に列に並んで受け取る姿は、世界から不思議に感じられていたとの事です。

日本人のこういった国民性は歯の治療にも表れており、それは「不満があってもしがらみで通う」という事です。疑問点があっても良い所があるからと自分を納得させながら通うが、会う友達

には不満を言い続ける。選ぶのも通うのも自己責任だとは思いますが、これには緊急性を要する歯科特有の構図があるのです。定期検査が定着していない日本では、突然の歯の痛みに襲われる方が多く、「どこの歯科医院でもいいから見てほしい」という希望が多いのです。歯科医院も急患随時という所は、それを受け入れてその後他も悪い所があればしばらく通院を余儀なくされると

方を受け入れられるように歯科医院を増やしました。なってしまうた虫歯を治すための受け皿を作り続けたのです。また、国民皆保険制度で最低限の治療は安く手軽に受けられる体制を作ってきました。

しかし、世界では受け皿を作る事より、虫歯や歯槽膿漏にならないように予防を推進しました。その結果、世界中で虫歯や歯槽膿漏は減少し、虫歯になったら削る治療は無くなる傾向にあるのです。そもそも歯が痛くなってしまった場合、仮に急患随時の歯科医院で受け入れたとしても、通常の治療より痛くなった歯の治療は困難を極め時間がかかる事が多いのです。そのため、元から予約を待っている患者様を待たせて治療するか、予約の患者様の治療内容を少なくして急患の対応をせざるを得ません。

そのようなわけで当日いい加減な治療を望まれても、合間に治せる事は少ないのです。そんなに簡単に治るならもっとたくさんの方の予約を入れられる事となります。多くの方が急患随時からお世話になる歯科医院でしがらみ通院が始まるかと思いますが、これからは痛くならないように痛みを前に歯科医院選びをする時代ではないでしょうか? 当院では、歯の健康教室・日曜相談・電話相談・歯のカウンセリングの予約を受け付けております (02555・418)。

